平成31年2月12日

研修報告書

氏名：西﨑　直人

所属：順天堂大学医学部附属浦安病院小児科/地域周産期母子医療センター

研修期間：平成28年9月20日　～　平成31年2月現在

研修場所：東京女子医科大学遺伝子医療センター　ゲノム診療科

受講動機：

私は日々の診療で小児腎疾患、周産期新生児医療を専門に行っています。いずれも遺伝性疾患（アルポート症候群、腎性低尿酸血症、等）、染色体異常児（トリソミー21を代表とする種々の疾患）、遺伝性疾患を有する母体からの出生児（筋強直性ジストロフィー母体児、等）を診療する事が多く、またこれら疾患の遺伝情報を中心にご両親への正確な情報提供とその後のご両親の心理面へのアプローチも必須となります。また今後、当院におきましても産婦人科と協働し、非侵襲的出生前診断（NIPT）外来を開設する予定です。このさいに小児科医かつ臨床遺伝専門医の役割も必要となることが予想されます。このような状況の下、臨床遺伝を勉強させて頂きたく希望いたしました。

研修内容：

火曜午後（14:00-17:00）：遺伝カウンセリング、小児科外来に陪席

不定期（毎回約1時間）：遺伝子医療センター主催・月例会でレクチャー、講演会参加

研修成果：

外来陪席を中心に臨床遺伝専門医の先生方の患者対応、病状説明、心理的配慮など実践を通じて勉強させて頂きました。模擬ロールプレイとは異なり、実際の患者さんの反応を見ることが出来て大変勉強になっております。また研修施設には神経・筋疾患、新型出生前診断（NIPT）、原因不明の小児発達障害などの患者さんが多く、経験や知識の習得に大変役立っていると思います。

その他（感想・要望・反省点、等）：特にありません。